

特集 夏の進路企画の実施報告

知的好奇心を刺激 視野を広げよう

7～8月に実施した進路関係の企画について、実施結果を報告します。どの企画にも、多数の参加希望がありました。今後も、みなさんの意識を刺激する企画を用意します。ぜひ積極的に参加して、自分の知的好奇心を刺激するとともに、進路選択に向けての視野を広げていきましょう。

1 Tachibana 自己変革 plan 2018

実施日 7月21日(土)
訪問先 ①JAXA 筑波宇宙センター 10:00～11:50
②産業技術総合研究所つくばセンター 12:00～15:00
参加者 生徒40名(希望者 1年生29名、2年生11名) 教師4名
実施内容



JAXA では、宇宙飛行士トレーニング室や宇宙服の実物、国際宇宙ステーション (ISS) の日本の実験棟「きぼう」の管制室を見学することができました。

産業技術総合研究所では、「サイエンストーク」に参加し、「科学が進むと単位が変わる」というテーマを中心に、各分野の研究成果の発表を聴いたり、実生活への応用の様子を体験したりすることができました。

参加生徒の感想 以下は、参加者全員に見学後に書いてもらった感想を要約したものです。

Q1.「興味関心をひかれた」「面白かった」と思ったのはどのようなことでしたか？

■ JAXA 筑波宇宙センター

- 宇宙飛行士の訓練や試験について、普段知らなかったことを知ることができ面白かった。
- 宇宙飛行士になるには、過酷な試練が多くあり、人間性も問われるということが面白かった。
- 現在、宇宙で医学や生物の研究がなされていることを知り大変驚いた。宇宙というものが今の私たちの生活と深くかかわっているのだなと思った。
- 宇宙服が13層からなり、ISS「きぼう」は45分で地球を1周していることに興味を引かれた。
- 宇宙ステーションやNASAと24時間体制で交信しているというのに驚いた。

- 本物のロケットは大きいということを実感した。宇宙に行くと身長が伸びる！
- 宇宙食には種類が多く、ぜひ食べてみたいと思った。

■ 産業技術総合研究所 つくばセンター

- 産総研で豚の心臓や世界一固い虫に触ることができた。
- 光触媒で水をきれいにするところが面白かった。
- 砂金の採取体験では、金というものがとても重くて動きにくいということがわかった。
- 地層や断層、化石や鉱物について新たな興味がわいてきた。
- 「長さ標準と光学トンネル」というサイエンストークでは、これまでのメートルやキログラムの基準となったものが紹介された。来年のこの時期にはキログラムの基準が変わる！
- カーボンナノチューブに関するコーナーで専門的な話を聞くことができた。
- 「カオス」という数学の専門分野の話が、難しい内容だったが非常に面白かった。

Q2. 今回の plan に参加したことで、今後の学習や学校生活に取り組む姿勢をど

う改善していこうと思うようになりましたか？

- 本当にまだ知らないことがたくさんあると思い知らされた。多くの情報を手に入れて知識を広げるべきだと思った。
- 自分が学習した内容が展示されていたりして、更に理科に興味があったので、今までよりも意欲的に授業に参加したいと思った。
- 自分の視野が広がった気がする。今後はいろいろなことに興味を持つようにしたいと思った。
- 最初から自分とはかけ離れていることだと決めつけず、少しずつ情報を手に入れながら自分の知らないことを知る努力をすべきだと思った。
- 自分に興味関心のないことはスルーしてきたが、これからは自分の興味関心の幅を積極的に広げてゆこうと思った。
- メディアで紹介されていないような技術、仕事、研究に目を向けて、幅広い視野を持って日常生活を有意義に過ごしたい。
- もっと細かく学びたい、学びは楽しいという意欲がわいた。
- 同じ高校生が自分たちの研究を発表している姿を見て、私も自分から問題解決に取り組むような積極的な生徒になろうと思った。
- 人の役に立つような仕事をしたいという目標が達成できるように、しっかり計画を立てて努力していこうと思った。
- いろいろな活動に自ら積極的に参加して、もっと自分を磨けたらいいなと思った。
- 将来の目標があいまいで勉強への意欲が薄れていたのだが、この経験を通して目標を再確認することができた。目標達成に向けて積極的に勉学に励んでいきたい。
- 大きな目標を立てて、それを実現するために着々と努力を重ねていこうと思った。
- 私は文系を選択しているが、宇宙という自分の好きな世界はやはり面白かった。だから一つの目線だけで物事を捉えようせず、多くの視点から自分の将来を考えていきたいと思った。
- 関心を持ったことを納得のいくまで調べる姿勢を目指していきたい。



(JAXAにて H2型ロケットをバックに)

2 『高大接続』特別企画

① 新潟大見学会

実施日 8月9日(木)
訪問先 新潟大学のオープンキャンパスに参加
参加者 生徒82名(3年生1名、2年生81名) 教師4名 大型バス2台

② 会津大見学会

実施日 8月11日(土)
訪問先 会津大学のオープンキャンパスに参加
参加者 生徒20名(3年生1名、2年生16名、1年生3名) 教師4名 大型バス1台



■ 秋からの進路関係行事について

9月から11月にかけて、進路関係の行事が目白押しです。積極的に参加して、進路に向けての意識を高めてくれることを期待します。

① 2学年 『先輩講話』

実施日 9/19(水) 6・7校時(+放課後)

対象者 2学年全員

目的 2学年全員を対象として実施します。現役大学生の先輩を招いて、実体験を基にしたお話を聴く機会を設けます。現在、大学で専攻している学問分野の内容をはじめ、今後の受験勉強に向けてのアドバイス、そして、学費・生活費、サークル活動、アルバイトなどの大学生活の様子まで、後輩のためになるならぜひとも話したいとみなさん意欲的です。

講師 10名 (大学2、3年生)

福島大2名(人間発達学類、行政政策学類) 福島県立医科大2名(看護学部)
北海道大1名(農学部) 東北大3名(工学部1名、文学部2名) 千葉大1名(法政経学部) 新潟大1名(医学部保健学科)

内容 ①第1部「全体会」・・・卒業生による「パネルディスカッション」

現在の大学生活の様子(生活費・学費、1人暮らしの体験談、サークル活動、アルバイト等)について、卒業生に進行をお任せし、自由に話をしてもらいます。

②第2部「分科会」・・・各分野に分かれての「講話」

現在、それぞれが大学で学んでいる学問分野についての話や、大学での講義・ゼミ、実験・実習などの様子について話を聴きます。

*あらかじめ、分科会の受講希望を調べ、調整を行ったうえで講座編成をします。詳しいことは、クラス担任より説明があります。

③第3部「卒業生との座談会(放課後)」・・・希望者のみの自由参加

卒業生と自由に話ができる時間を設けます。

② 『宇都宮大見学会』(1,2学年の希望者)

実施日 10/27(土)

訪問先 宇都宮大学 秋のオープンキャンパスに参加

対象者 1・2学年の希望者 限定40名(大型バス1台)

注意 定員を超える希望者が出た場合は、2年生を優先し、厳正な抽選を行い参加者を決定します。予算等の関係上、バスの増便はできません。

③ 1学年 『キャリアガイダンス』

実施日 10/31(水) 5~7校時

対象者 1学年全員

目的 本校関係者や福島県にゆかりのある方の中から、いろいろな職種の方を講師としてお招きします。それぞれの職業について実体験に基づいたお話をいただくとともに、社会人の先輩として、今後に向けてのアドバイスをいただきます。

講師 現在、約10名の方をお招きする予定で調整が進められています。昨年以上にバラエティに富んだ顔ぶれになりそうです。かなり面白いお話が聴けるのではないかと思いますので、期待しててください。



④ 2学年 『学問分野別講義』

実施日 11/28(水) 5~7校時

対象者 2学年全員

目的 大学の先生方をお招きし、現在、それぞれの学問分野ではどのような研究がなされていて、今後どのような発展していくのかなどについて、講義をしていただきます。

内容 各分野ごとに分かれ、90分の講義・演習を行います。

☆センター試験まで145日 (8/27現在)

3学年の後期平常課外(理社90分)始まる

理社の追い込み開始！ 総合点UPを狙え

8月30日(木)からは、3学年の後期平常課外(理社)が始まります。ここから最も上昇が期待できるのは理科と社会です。理系・文系を問わず、意識的に勉強量を増やしていくべきです。最後に合否を決めるのは全科目の「総合点」になりますので、バランスを考えて計画的に行いましょう。

① 課外授業や添削指導は受け身の姿勢では効果なし

いくら多くの課外授業を実施しても、みなさんが受け身の姿勢で参加していたのでは、高い効果は期待できません。大事なのは、みなさん自身が積極的に課外授業に臨み、扱った教材は完全に自分のものにしようとする姿勢です。攻めの気持ちをもって、能動的に受講することを期待します。また、英数国を中心に個別添削指導も始まりますがこれも、単に添削してもらうだけに終わらず、疑問点は積極的に質問し完全理解を目指しましょう。

② 家庭での『自主学習時間』をどれだけ確保できるか！？

本校の課外授業は、あえて月曜日と金曜日に休みを入れています。これは、みなさんの自主的な学習時間を確保できるように配慮したものであり、単なる「休養日」にするためではありません。自分で考え、理解を深めていく時間を作らなければ本当の力はついていきません。

また、日々の授業の予習・復習や模試の反省なども、当然、時間をかけてしっかりやっていかなければいけません。そのためにも、自分の勉強時間をしっかり確保することは大事です。休み時間や列車通学時間などの「すきま時間」を有効に活用することも必要です。